

令和8年度

入間市の予算

入間市制施行
60周年



入間市 財政課

令和8年 4月

はじめに

入間市の予算については、市公式ホームページ上で「予算書」、「予算説明書」などを公表していますが、一般には馴染みのない単語や大きな数字が並んでいて、一見して分かりにくい作りになっています。この「入間市の予算」では、表やグラフを使いながら、分かりやすく予算の内容を説明しています。市の予算について、「難しそうがよく分からない」、「自分には関係が無い」と思っている方にも、この冊子を読むことで、自分の住んでいる市の予算がどうなっているのか、自分の税金がどのように使われているのかを確認するための参考にしていただければ幸いです。市公式ホームページには「予算の概要」として、主な事業についてより詳しく紹介した資料もございます。「入間市の予算」を読んで、他にどんな事業があるのか気になった方は、是非ホームページでご参照ください。

入間市公式ホームページ
「令和8年度予算の概要」



目 次

基礎知識編

そもそも、予算って何なの？	1 P
予算はどうやって決まるの？	1 P
決まった予算は変えられないの？	1 P
予算が無いとどうなるの？	2 P
予算がどう使われたかは確認できるの？	2 P

導入

令和8年度の入間市の予算は？	3 P
去年と比べて増えてるの？	4 P

歳入

令和8年度の入間市の収入は？	5 P
市税ってどんな種類があるの？	6 P
国・県からのお金は何に使われてるの？	6 P

歳出

支出（歳出）にはどんな種類があるの？	7 P
人件費の割合はどれぐらいなの？	8 P

家計簿編

入間市の家計簿	9 P
入間市家計簿のここがキツイ！	10 P

事業編

令和8年度の注目事業は？	11 P
公共施設の再整備	12 P～15 P
こども・教育支援の充実	16 P～21 P
未来への成長投資	22 P～26 P

資料編	27 P～30 P
-----	-----------

基礎知識編

Q そもそも、予算ってなんなの？

A. 予算とは、1年間の収入と支出の見積です。

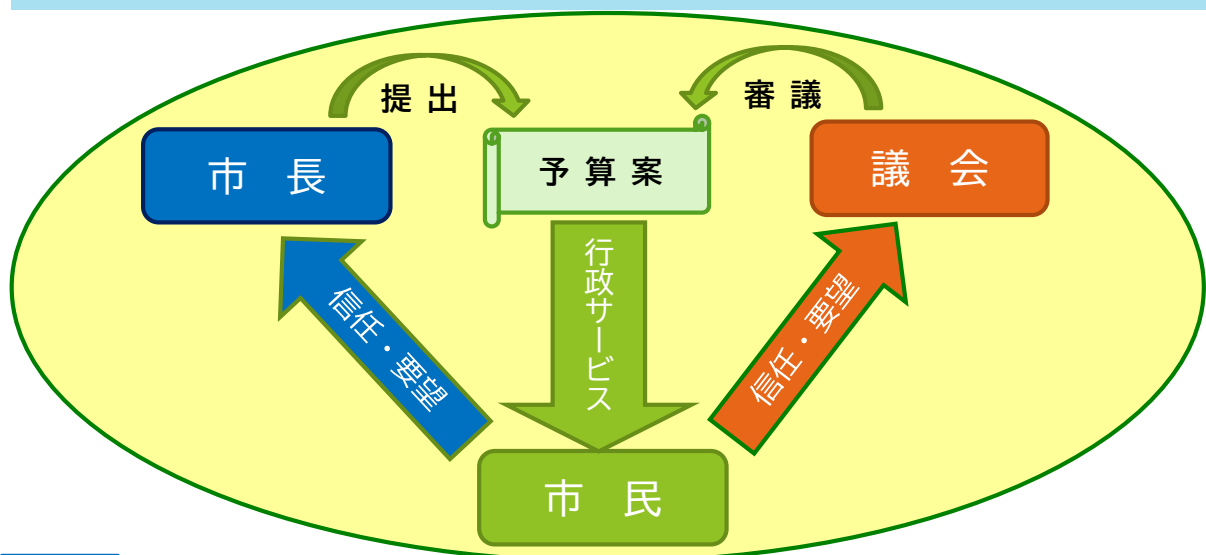
新しい年度が始まる前に、1年間(4月から翌年3月まで)にどのぐらいの収入があるか、その収入をもとにどのような行政サービスを行うかを計画し、必要な費用を見積もります。

Q 予算はどうやって決まるの？

A. 市長が作った予算案が、市議会で審議・議決されることで、予算として成立します。

市役所の様々な担当が、市民のみなさまからの要望や、法律・条令によって必要になる行政サービス等を行うための費用と、税金などの収入を1年分として計算します。市長は集まった各担当の予算を、市が目指すまちづくりのための予算案としてまとめ、市議会に提出します。

市議会は市民を代表して、提案された予算案を様々な視点から審議し、議決することで予算を決定します。



Q 決まった予算は変えられないの？

A. 補正予算を見積り、議会で議決を受けることで変えられます。

例えば自然災害への対応や、急な選挙など当初の見積では想定できなかった経費が必要となった場合には、それに対応するための補正予算案を作り、市議会へ提出します。

基礎知識編

Q 予算が無いとどうなるの？

A. 予算の裏付けが無い事業は執行できません。

市の行う様々な事業は、議会の議決を経た予算において必要な支出が決められています。道路の補修であれ、イベントの開催であれ、予算に無い支出をすることはできません。この為、急な支出が必要になった場合には補正予算を作成することになります。

Q 予算がどう使われたかは確認できるの？

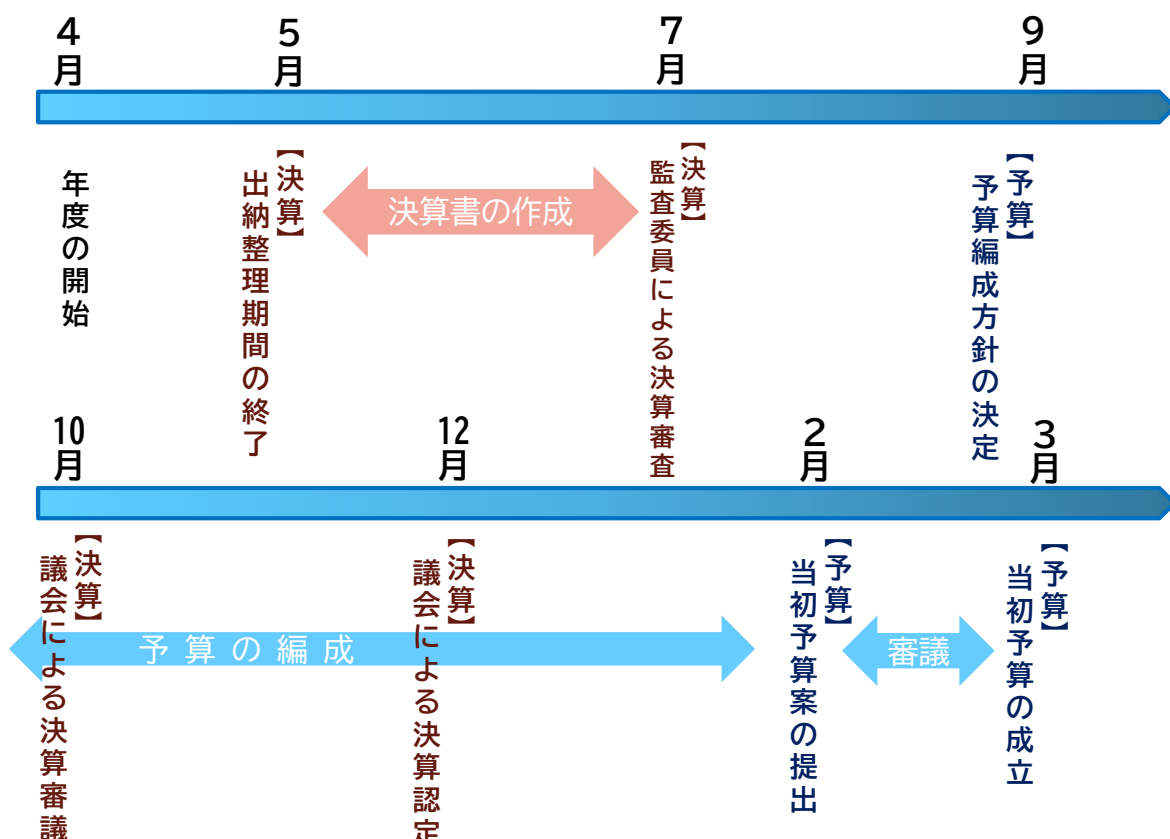
A. 予算の収支の結果が決算書として作成され、報告されます。

予算は1年間の収入と支出の見積でしたが、実際の収入と支出の結果は決算として作られます。

4月から翌年3月までの1年間に実際に入ってきたお金と実際に使われたお金について、補正予算を含めて決算書に記します。

決算書は会計管理者が作り、市長が監査委員の審査を受けた後に市議会へ報告し、認定を受けます。決算書の附属資料として決算報告書が作られ、どのような事業にどれだけのお金が使われたかを確認することができます。

前年度の決算認定と翌年度の予算成立の流れ



導入編

Q 令和8年度の入間市の予算は？

A. 一般会計、特別会計、公営企業会計の全ての予算をあわせると、978億9,192万7千円になります。

一般会計
564億2,000万円

福祉、教育、道路整備などを進める基本的な行政サービスを行うための会計です。

特別会計
321億6,106万4千円

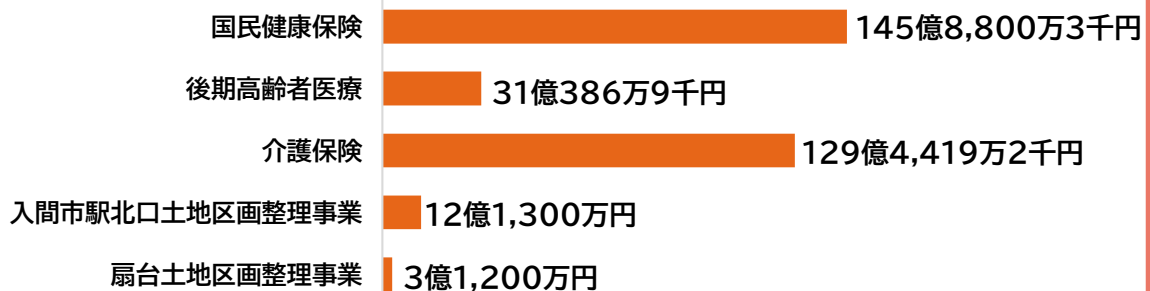
特定の目的のための会計です。国民健康保険や介護保険、区画整理など入間市には5つの特別会計があります。

公営企業会計
93億1,086万3千円

入間市が運営する企業の会計です。水道事業会計と下水道事業会計があります。



特別会計内訳



導入編

Q 去年と比べて増えているの？

A. 一部の特別会計を除き、ほぼ全ての会計で増えています。

令和7年度

令和8年度

一般会計
553億1,000万円

+11億1,000万円
+2.0%

一般会計
564億2,000万円

特別会計
307億6,274万7千円

+13億9,831万
+4.5%

特別会計
321億6,106万4千円

特別会計内訳

国民健康保険	140億3,289万9千円	➡	145億8,800万3千円 (+4.0%)
後期高齢者医療	27億1,254万8千円	➡	31億386万9千円 (+14.4%)
介護保険	123億7,390万円	➡	129億4,419万2千円 (+4.6%)
入間市駅北口土地区画整理事業	13億4,000万円	➡	12億1,300万円 (-9.5%)
扇台土地区画整理事業	3億340万円	➡	3億1,200万円 (+2.8%)

公営企業会計
79億5,552万3千円

+13億5,534万円
+17.0%

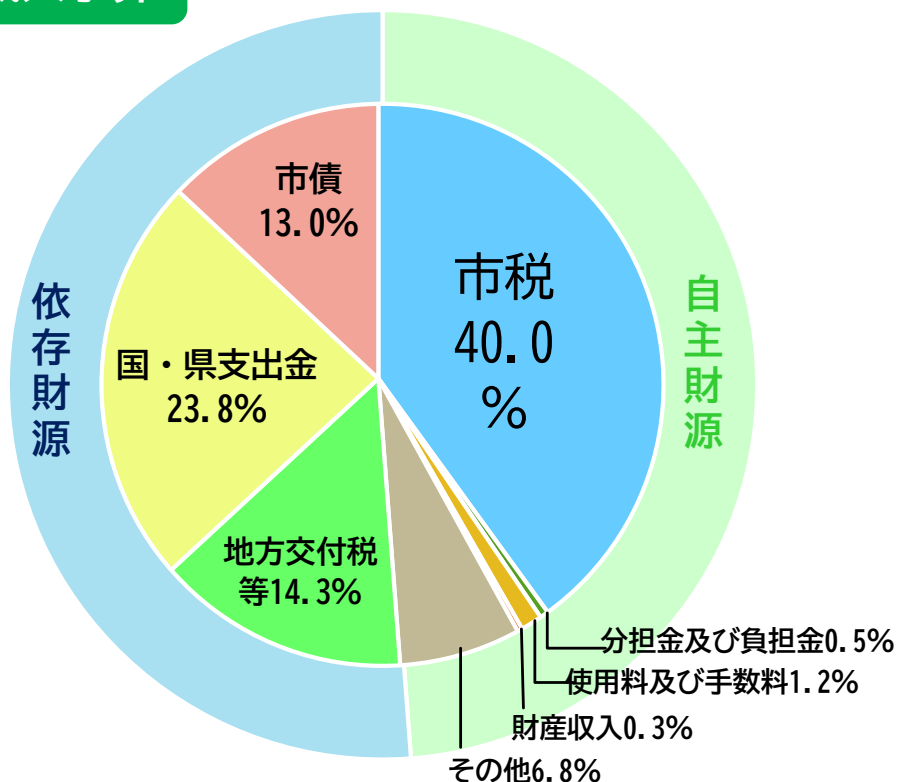
公営企業会計
93億1,086万3千円

歳入編

Q 令和8年度の入間市の収入は？

A. 一般会計の収入(歳入)には、市税や国・県からの支出金、銀行などからの借入金や施設の使用料などがあります。

一般会計歳入予算



依存財源	
地方交付税	30億3,000万円
みなさんが国に収めた税金の一部です。市の財政状況などに応じて配分されます。	
地方消費税交付金	36億円
みなさんが国に収めた消費税の一部です。一定の割合に応じて配分されます。	
各種交付税	14億6,220万円
利子割交付金や配当割金など、みなさんが国に収めた税金の一部です。一定の割合に応じて配分されます。	
国・県支出金	134億5,519万円
みなさんが国や県に収めた税金の一部です。特定の目的を達成するために市へ交付されます。	
市債	73億4,640万円
事業を実施するために国や銀行から借り入れるお金です。	

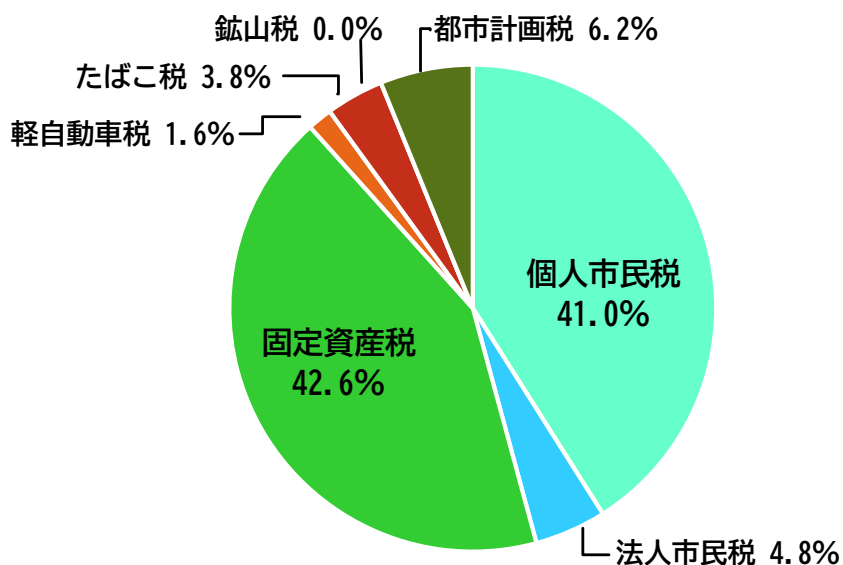
自主財源	
市税	225億7,688万円
みなさんから入間市に納めていただく税金です。	
分担金及び負担金	2億6,991万円
事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。	
使用料及び手数料	6億7,963万円
市の施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。	
財産収入	1億5,738万円
市が持っている財産の貸付や売払いなどにより得るお金です。	
その他	38億4,238万円
各種基金からの繰入金や寄附金などです。	

歳入編

Q 市税ってどんな種類があるの？

A. 入間市の市税には以下のものがあります。

個人市民税	市民の方が給与などの所得に応じて納める税です。	92億6,153万円
法人市民税	市内の会社が収益などに応じて納める税です。	10億7,475万円
固定資産税	土地や建物などを所有している方が納める税です。	96億1,102万円
軽自動車税	軽自動車などを持っている方が納める税です。	3億7,085万円
市たばこ税	市内でたばこを買った方が納める税です。	8億6,779万円
鉱山税	市内にある鉱山から鉱物を採掘した会社が納める税です。	2千円
都市計画税	市街化区域内に土地や建物を持っている方が納める税です。	13億9,091万円



Q 国・県からのお金は何に使われているの？

A. 道路や学校などの整備のほか、児童福祉や生活保護など多くの分野に使われています。

※「自主財源」と「依存財源」とは？

「自主財源」とは市が自主的に調達できる財源のことで、主に税金や各種手数料、基金からの繰入金になります。「依存財源」とは国や県から割り当てられる(市が自主的には用意できない)財源のことで、主に国・県支出金や交付税、市債のことで、「自主財源」の割合が大きいほど、自前のお金で必要なことが出来ることになり、財政は安定していると言えます。入間市は5割を下回っており、厳しい状態です。

歳出編

Q 支出(歳出)にはどんな種類があるの？

A. 福祉、教育、土木など13の目的別に分けられています。



※大変動の理由は？

「農林水産業費」の増額は、新たに県の補助金を受け入れ、園芸生産力の強化支援などを行うものです。

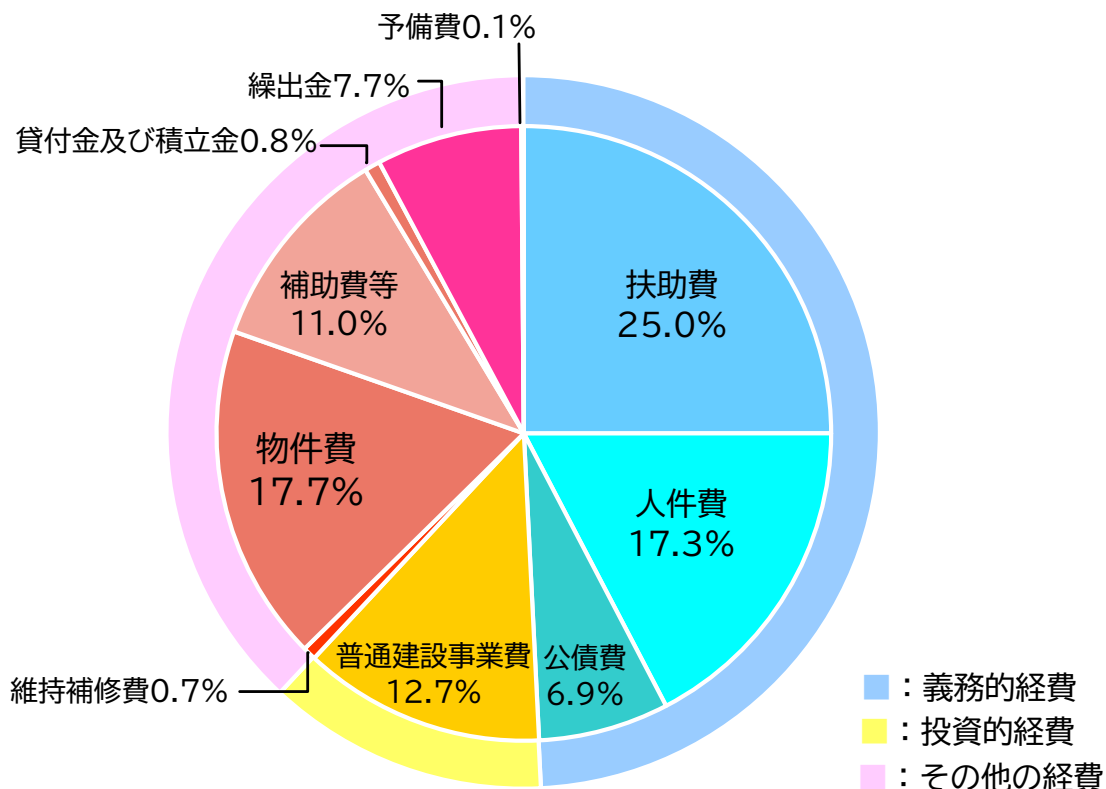
「教育費」の減額は、学校給食センターの新設工事が完了したことで事業費が減少したものです。

「諸支出金」の増額は、土地開発基金の利子の積立について、金利の急上昇を反映させて増額したものです。

歳出編

Q 人件費の割合はどれぐらいなの？

A. 歳出を性質別に分けると、約17%が人件費になっています。



義務的経費 277億6,302万円

- ・扶助費 141億152万円
- ・人件費 97億8,728万円
- ・公債費 38億7,422万円

扶助費（福祉に係る費用）、人件費（働く人の給料）、公債費（借り入れたお金の返済）は毎年必ず支出しなければなりません。そのため、「義務的経費」と呼ばれています。

投資的経費 71億8,879万円

- ・普通建設事業費 71億8,879万円

道路や学校などの公共施設の建替えや改築に係る経費です。市の資産として残る物に使われるので「投資的経費」と呼ばれています。

その他の経費 214億6,821万円

- ・維持補修費 3億9,248万円
- ・物件費 100億770万円
- ・補助費等 62億666万円
- ・貸付及び積立金 4億6,175万円
- ・繰出金 43億2,371万円
- ・予備費 7,593万円

※主なその他の経費の内容

「維持補修費」: 施設の維持管理のために必要な経費です。

「物件費」: 情報システム関係の経費、光熱水費、備品購入費などがあります。

「補助費等」: 埼玉西部消防組合の負担金等、関連団体への支出があります。

「繰出金」: 一般会計から特別会計へ支出するお金です。

家計簿編

入間市の家計簿

自治体の会計と家計では単純に比較できない部分もありますが、令和8年度の一般会計予算を年収500万円(月収41万7千円)の世帯に置き換えると、次のようになります。

収入月額		家計
給与		22万6千円
	基本給 (市税)	16万6千円
	諸手当 (地方交付税等)	6万円
児童手当ほか (国県支出金)		10万円
不動産収入 (財産収入、使用料等)		8千円
預金の取崩し (繰入金)		1万5千円
その他収入 (諸収入等)		1万3千円
ローン (市債)		5万5千円
収入合計		41万7千円

支出月額		家計
医療・介護費 (扶助費)		10万4千円
食費 (人件費)		7万2千円
光熱水費・通信費・日用品など (物件費)		7万4千円
習い事ほか (補助費等)		4万6千円
家の増改築・車の修理 (投資的経費・維持補修費)		5万6千円
預金 (積立金等)		4千円
仕送り (繰出金)		3万2千円
ローン返済 (公債費)		2万9千円
支出合計		41万7千円

家計簿編

【入間市家計簿のここがキツイ！】

①今後の基本給の伸びが不安！

ここ数年は賃金アップの流れもあって横這いから上昇傾向に転じましたが、家計を支えるにはまだまだ心もとない数字です。様々な手当を貰う事でなんとかなっているというのが現状ですが、今後は家族の高齢化で働き手が減り、給与収入も減っていくことが予想されます。

【入間市家計簿のここがキツイ！】

②ローンの借り入れが多い！

家の建て替えなどでローンの借入額が増えています。建て替えが終われば借入額は減りますが、今度はローンの返済額が段々と増えていくこととなります。計画的な利用で、返済額が負担になり過ぎないようにすることが重要です。

【入間市家計簿のここがキツイ！】

③預金を取崩さないと言っていけない！

不足する収入を補うために預金を取り崩していますが、積立てが追い付いていません。貯金が底をつく前に収支を改善させ、積立てを増やしたいところです。

【入間市家計簿のここがキツイ！】

④医療・介護費が増え続けている！

家族の高齢化が進む中で医療や介護の費用が上がっています。日常的な健康づくりを進めることで費用の上昇を抑えることが大事です。

Q 令和8年度の注目事業は？

令和8年度は、市制施行60周年という節目の年に当たり、将来世代へ責任ある市政運営を実現するため、**公共施設の再整備**、**こども・教育支援の充実**、そして**未来への成長投資**を3本柱に、持続可能で活力あるまちづくりを加速させる予算としました。

- ◆ 新庁舎等整備事業
- ◆ 地区センター施設改修事業
- ◆ 宮寺・二本木地区小学校建替え基本構想・基本計画の策定
- ◆ 西武中学校既存校舎等解体工事

公共施設の再整備

- ◆ その”大丈夫”を見逃さない！ヤングケアラー支援事業
- ◆ 民間保育施設開設へ、施設整備費を補助
- ◆ こども誰でも通園制度
- ◆ 令和8年度からの学童保育室運営受託事業者決定
- ◆ 学力向上に向けた取組の充実
- ◆ 未来へAdjust!! 「ここ<心>・から<身体> プラン」

こども教育支援の充実

- ◆ 総合窓口設置事業（書かない窓口の導入）
- ◆ 生活保護システムオンライン化事業
- ◆ 入間市ゼロカーボンシティ推進設備設置費補助事業
- ◆ 入間市駅北口土地区画整理事業
- ◆ 上藤沢・林・宮寺間新設道路整備事業

未来への成長投資

新庁舎等整備事業

令和9年5月中旬の新庁舎棟の完成に向け、令和8年度も工事を進めます。
また、新庁舎棟の運用開始に向けた準備（移転計画や什器購入など）を進めます。

事業概要

耐震基準を満たしていない本庁舎A・B棟の建替えと引き続き使用するC棟の改修に向けて、設計、施工、維持管理・運営を一括して発注し、進めています。

C棟改修は、2階→3階→4階→5階→1階の順に1フロアずつ改修・移転を繰り返す「**居ながら施工**」で進めます。

◆ 予算額（令和8年度） 4,445,617,000円
※総工事費 10,358,683,500円



地区センター施設改修事業

地区センターは、地域の拠点として利用者の皆さまに安全かつ安心してご利用いただける施設となるよう、公共施設マネジメント事業計画に基づき計画的に改修や建替えを進めています。

事業概要

- 東藤沢地区センター屋上防水等改修工事
- 扇町屋地区センター屋上防水等改修工事実施設計業務委託

老朽化した既存施設の長寿命化を図り、安全性を高めるために改修します。東藤沢地区センターでは、地域包括支援センターを地区センター内に移転することで利便性の向上を図ります。

- 黒須地区センター建替工事実施設計業務委託

黒須地区センターは地区センター化してから初めての施設建替工事です。

地区センターの機能を最大限発揮できるような設計を目指します。

建替工事期間中は、JA いるま野旧黒須支店で地区センター業務を行う予定です。

予算額
160,461千円



東藤沢地区センター外観

事業編

その”大丈夫”を見逃さない！ ヤングケアラー支援事業

全国に先駆けて、入間市独自の新たな3つの施策に取り組みます。

事業概要

◆ 潜在的ヤングケアラーへの気づきと見守り

支援が必要な子どもを見過ごさないため、市に寄せられた相談記録や実態調査の結果などをもとに、データベースを整備します。ヤングケアラーの状況に応じて支援の必要性を整理し、段階に合わせたフォローアップを行います。

◆ カスタマイズサポートの展開

家事支援・学習支援に限定せず、利用者ニーズにきめ細やかに応える「カスタマイズサポート」を実施します。

◆ whole (ホール) レスパイトの導入

ヤングケアラーとその家族を一体的に、両者をつつみこむ (whole) ための入間市独自の支援である「wholeレスパイト」を実施します。

◆ 予算額
12,527千円



事業編

民間保育施設開設へ、 施設整備費を補助

市内の待機児童解消に向けて、民間保育施設を整備します。
令和8～10年の3カ年で新たに約100人の低年齢児（0・1・2歳）の
保育定員を創出します。

事業概要

◆整備内容

元加治幼稚園、わかばの森幼稚園が認定こども園に移行するため、施設整備費を補助します。

また、藤沢地区に小規模保育施設の設置を計画しております。
整備は令和8年度の計画です。

◆開園予定

令和 8年度中 小規模保育施設

令和 9年4月1日 元加治幼稚園
(令和7～8年度実施 ※2カ年計画)

令和11年4月1日 わかばの森幼稚園
(令和8～10年度実施 ※3カ年計画)

◆予算額（令和8年度）

250,158千円

施設名	保育枠 0～2歳児	保育枠 3～5歳	教育枠
小規模保育施設	19人	0人	0人
元加治幼稚園	30人	39人	72人
わかばの森幼稚園	43人	60人	114人
合計	92人	99人	186人

こども誰でも通園制度

保護者の就労などの要件を問わず、保育所等の事業実施施設に通園できるこども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）が、令和8年4月から全国的にすべての自治体で実施されます。

制度概要

◆対象

保育所等に通っていない0歳6カ月～満3歳未満のこども

◆利用方法

月10時間の枠内で時間単位の柔軟利用

◆費用

- 1時間あたり300円程度を標準とし、各事業者において設定した額
- 行事への参加や食事の提供、文房具や日用品の購入に要する費用など

◆実施場所・申請方法

市が事業者を認可。実施場所は、保育所・認定こども園・小規模保育事業所・幼稚園等を想定。

現在、実施事業者を募集中であり、認可をうけた事業者や実施場所、申込方法の詳細は、市公式ホームページをご覧ください。

◆予算額

6,552千円

こども④誰でも
通園制度

事業編

令和8年度からの学童保育室運営受託事業者決定

入間市立学童保育室は、令和8年4月からすべての施設を民間事業者への業務委託により運営します。公募型プロポーザル方式によって選定を行い、学童保育室を2事業者による運営とすることが決定しました。

地区別受託事業者

地区	小学校区	受託事業者
豊岡第一	扇小	特定非営利活動法人 うさぎっ子クラブ
豊岡第二	豊岡小、東町小	
豊岡第三	黒須小、高倉小	
東金子	東金子小、新久小	
宮寺・二本木	宮寺小、狭山小	
藤沢第二	藤沢東小、藤沢南小	
西武	西武小、仏子小	
金子※	金子小	株式会社コマーム
藤沢第一	藤沢小、藤沢北小	

期間期間（金子地区をのぞく） 令和8年4月1日～令和11年3月31日

※金子地区は、令和8年度末までの業務委託を契約中です。

今回の公募型プロポーザル方式による選定によって、金子地区をのぞく8地区の受託事業者を決定しました。

◆ 予算額（学童保育費全体）

459,285千円

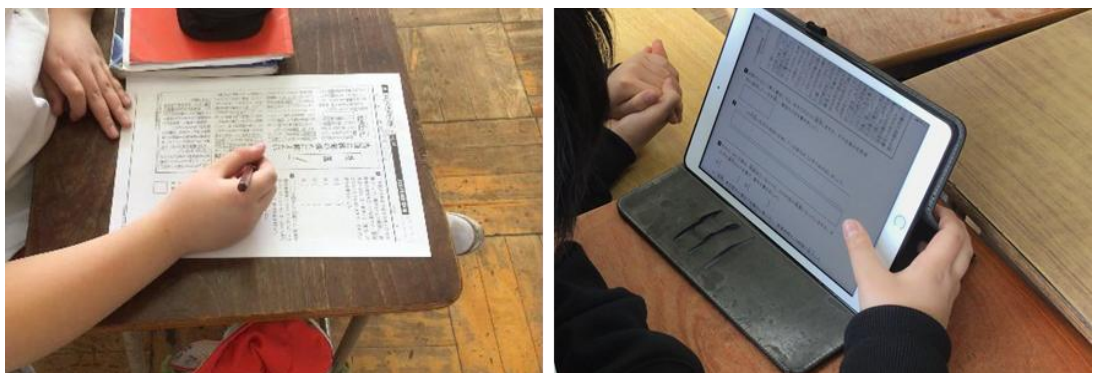
学力向上に向けた取組の充実

「読み解く力」を育み、基礎学力の定着や論理的思考力の向上を目指し、読売新聞教育ネットワーク事務局が発行する「よむ YOMU ワークシート」を導入します。

事業概要

週に一度、読売教育ネットワーク事務局から各学校へワークシートと回答が送られます。教師がダウンロードし、データやプリント教材として児童が取り組みます。

- ◆ 対象学年
市内小学校5・6年生児童
- ◆ スケジュール
令和8年1月 全小学校でトライアル実施
令和8年4月 本格実施
- ◆ 予算額
1,320千円



「よむ YOMU ワークシート」とは新聞の記事を基に、読解力向上を目指した補助教材です。短い時間で取り組むことができ、学習指導要領に対応しているところが特徴です。

事業編

未来へAdjust!!

「ここ<心>・から<身体> プラン」

専門職と学校が協働し、児童生徒の学校生活を支える〈学びの土台=Well being〉を〈心・身体・取り巻く環境〉の視点で多角的に支援し、子どもが安心して学べる環境を整えます。

事業概要

未就学施設の巡回支援の成果を小・中学校にも導入し、すべての子どもたちの自信を育み、不登校児童生徒を未然に防ぐことを目指します。

◆ 作業療法士（OT）と臨床心理士（CP）による市内の小・中学校への巡回支援

- ・ 教員へ児童生徒への「環境調整の仕方」等専門的なアドバイスを行う。
- ・ 児童生徒と一緒に「困り感への対応策」を考える。

◆ スクールソーシャルワーカー（SSW）の派遣

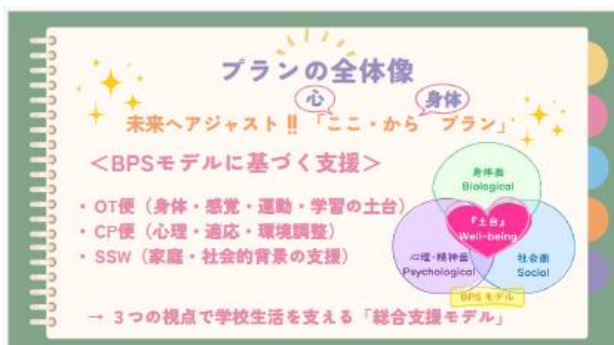
※会計年度任用職員として配置

- ・ 児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭支援や背景の改善をする。
- ・ 関係諸機関と連携・調整を行ったり、繋げたりする。

◆ 予算額

4,018千円

様々な“困り感”を
抱えた子をサポート!!



総合窓口設置事業 (書かない窓口の導入)

新庁舎整備にあわせて申請書の記入が不要な“書かない窓口”を導入します。

来庁者の負担軽減と滞在時間の短縮を図るとともに、業務効率化により生み出した時間を、より丁寧な市民サポートや相談対応に充ててまいります。

事業概要

3つの「ない」で、誰にでも優しい窓口へ

【書かない】申請書の記入負担をゼロに

マイナンバーカードや運転免許証を読み込むことで、氏名・住所等の面倒な手書きの手間をなくし、確認と署名だけで手続が完了します。

【回らない】手続の「たらい回し」を解消

転入・出生等に伴う国民健康保険などの手続を、ワンストップでまとめて受け付けます。課を移動する負担を減らします。

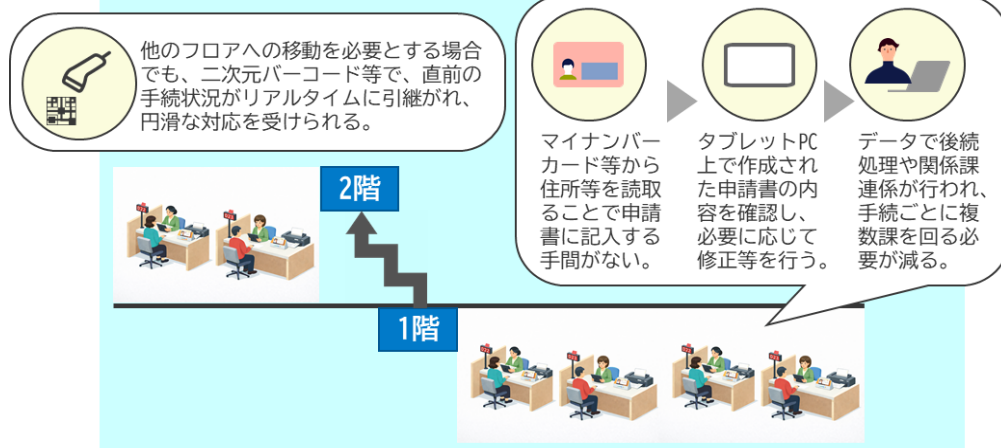
【迷わない】職員が対面でフルサポート

システムの操作は職員が行います。デジタル機器が苦手な方やご高齢の方も、対話しながら安心して手続いただけます。

◆ 予算額

69,288千円

新庁舎での提供イメージ



生活保護システム オンライン化事業

紙書類中心の運用を見直し、決裁や記録作成等をオンラインで処理できる環境を整備するとともに、タブレット端末の導入により業務の効率化を図り、保護の適正な実施と世帯の自立助長を進めていきます。

事業概要

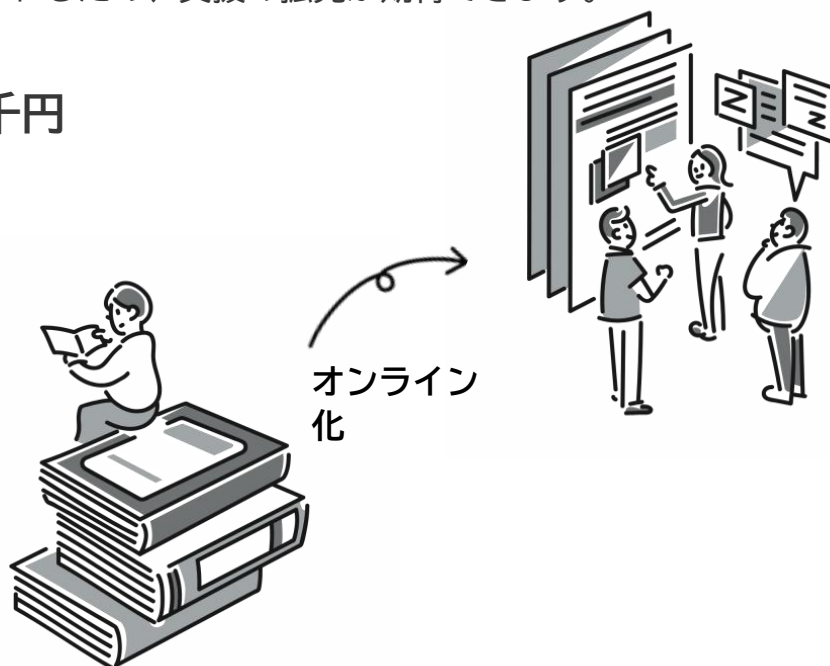
① 保護台帳のペーパーレス化

紙で管理していた帳票をデジタル化することにより、担当者が同時に情報を閲覧できるようになり、共有から対処までの迅速化が図れます。また、紙の省資源化や省スペース化も推進できます。

② タブレット端末の活用

これまでは、家庭訪問の際にはその場で必要な事項をメモに取り、帰庁後に改めてシステムに記録を入力する必要がありましたが、今後は訪問時にタブレットを使い必要な情報を確認したり資料や記録を保存したりできるため時間を縮減できます。その時間を訪問や他の支援に充てられるため、支援の拡充が期待できます。

◆ 予算額
37,410千円



入間市ゼロカーボンシティ 推進設備設置費補助事業

市域での再生可能エネルギー設備の普及拡大を図るため、国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、V2Hシステム・太陽光発電システム・定置用リチウムイオン蓄電池を設置する市民へ補助金を交付します。

事業概要

◆申請受付期間

令和8年5月1日から（**先着順**・予定）

※実績報告書の最終締切は令和9年2月26日（金）

◆補助対象設備・補助限度額

補助対象設備	補助限度額
①V2Hシステム	30万円
②太陽光発電システム （FIT・FIP制度以外）	35万円 （7万円/kW）
③定置用リチウムイオン蓄電池 （②と同時に導入するもの） ※15.5万円/kWh以下であること	50万円 （蓄電池の価格の1/3）

◆予算額

25,999千円



入間市駅北口土地区画整理事業

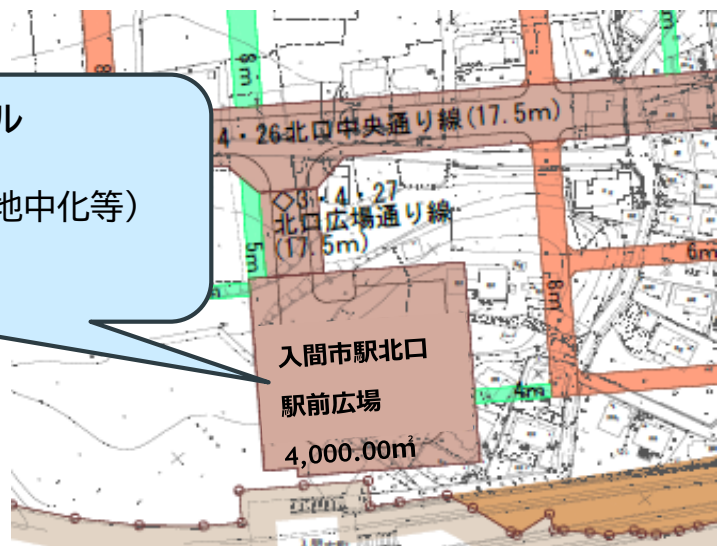
令和10年度開設予定の、入間市駅北口駅前広場の工事に着手します。
あわせて、入間市駅北口駅前広場周辺へのアクセス道路などの整備も引き続き進めていきます。

事業概要

- ◆ 事業期間
平成3年度（1991年度）
～令和24年度（2042年度）
- ◆ 予算額（令和8年度）
1,213,000千円

駅前広場開設までのスケジュール

令和 8年度：造成
令和 9年度：地下埋設物（電線地中化等）
令和10年度：駅前広場工事



事業編

上藤沢・林・宮寺間 新設道路整備事業

入間市宮寺地内および所沢市三ヶ島地区の生活環境や交通の利便性の向上を図るとともに、市内の交通渋滞の緩和を目的として、**国道463号バイパスと県道所沢・青梅線を新設道路で結ぶ建設を進めています。**

事業概要

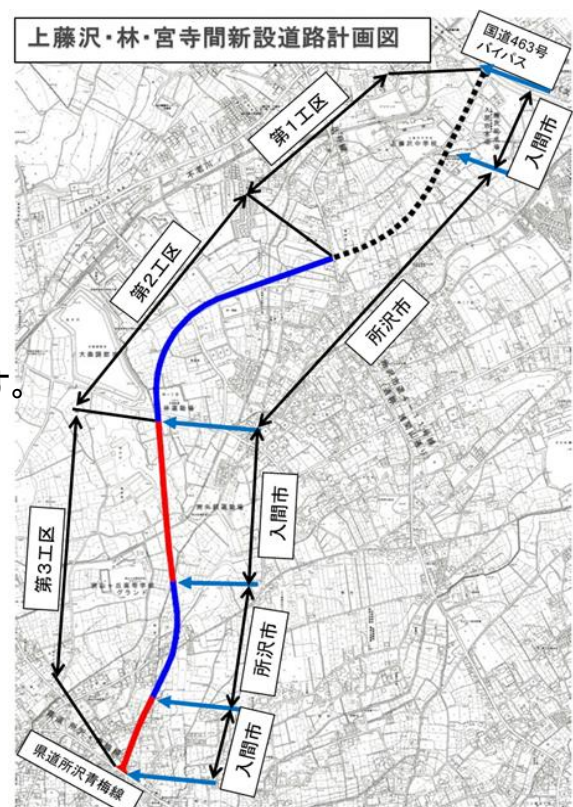
上藤沢・林・宮寺間新設道路は、所沢市と共同で整備する事業で、国道463号バイパスの上藤沢南交差点から所沢市の林地区を通り県道所沢・青梅線の所沢市境付近までを結ぶ**全体延長約2,654m**、両側に幅員2.5mの歩道を有する**全体幅員12.5m**の道路です。

◆ スケジュール

工区	道路施工状況
第1工区	平成31年3月 道路工事完了 〃 供用開始
第2工区	令和6年度から所沢市が整備中
第3工区	令和6年度から所沢市が整備中 令和8年度より入間市が整備予定

道路延長が長いことから、全体を3つの工区に分けて順次整備を進めていく計画となっています。

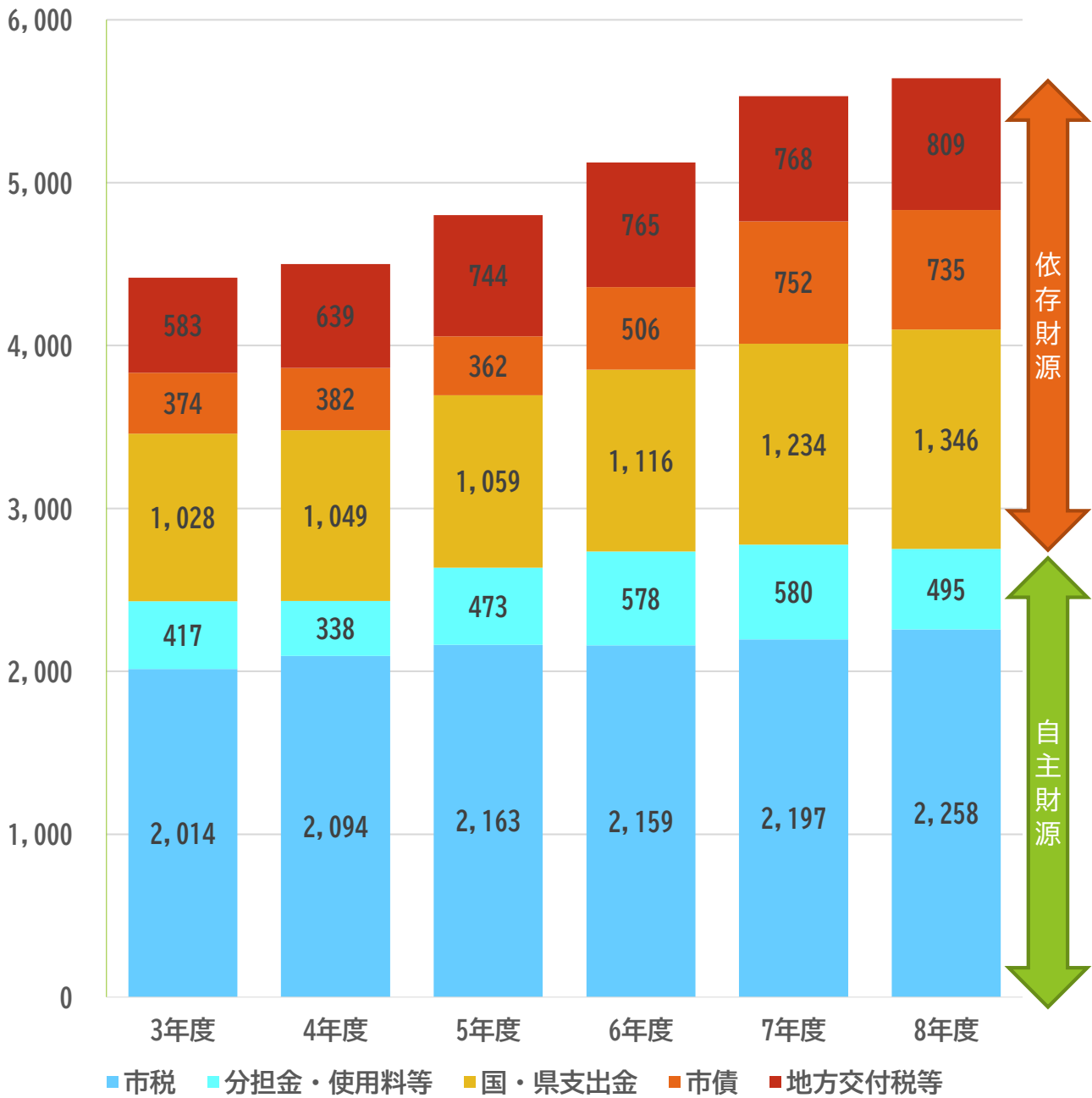
◆ 予算額（令和8年度）
416,000千円



資料編

一般会計歳入の推移

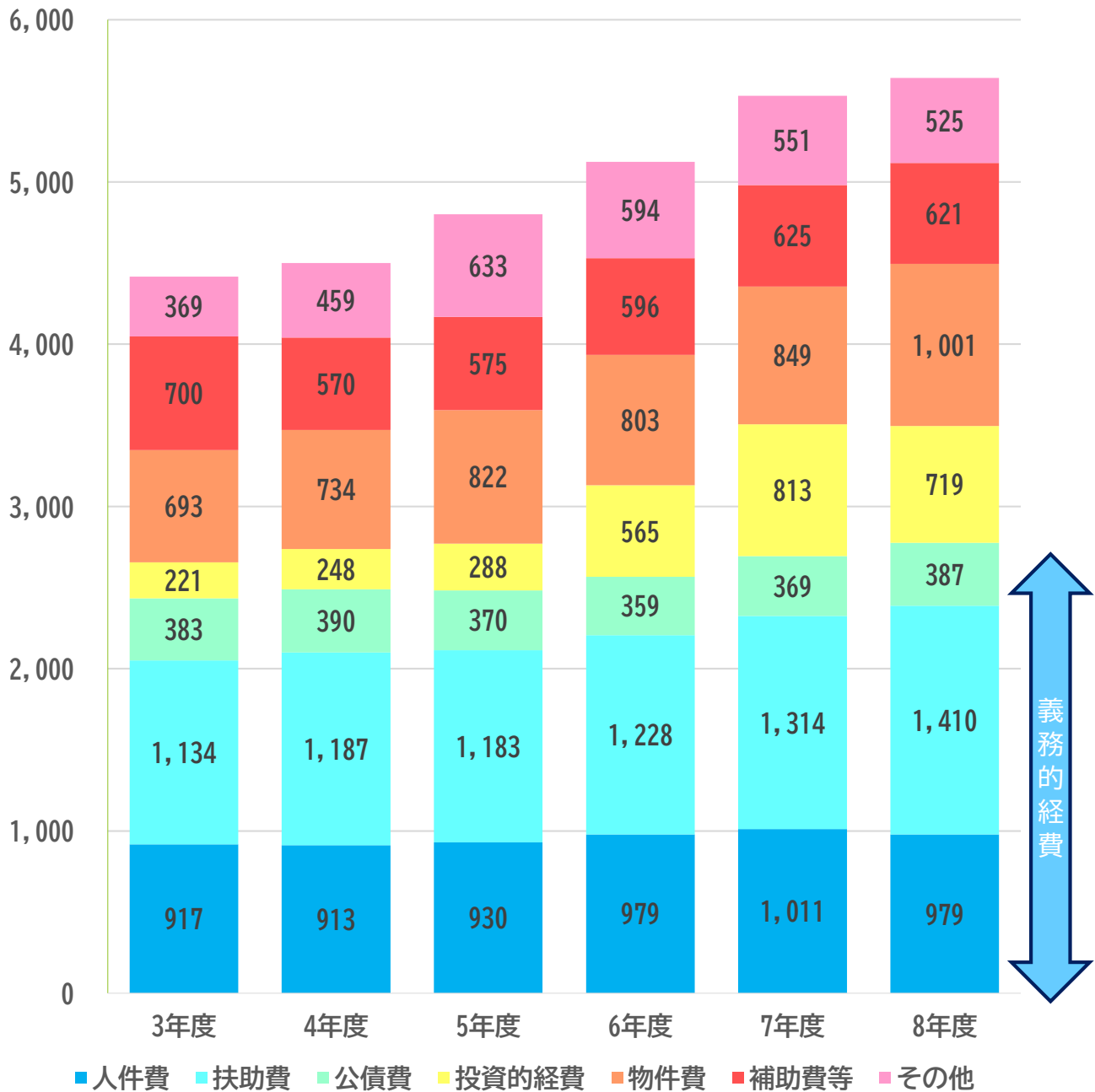
単位：千万



資料編

一般会計歳出の推移

単位：千万



資料編

他市との財政指標の比較 (令和6年度普通会計決算)

市の台所事情を表す「財政指標」には、さまざまなものがありますが、代表的で比較的分かり易いものを示しました。順位は県内40市のもので、入間市がどの位置にあるかという目安を示しています。

財政力指数 0.86 11位

標準的な仕事を行う財源をどのぐらい自力で調達できるかを示した指標です。この数字が単年度で「1」を超えると国からの普通交付税の交付対象から外れます。また、数字が大きいほど財政に余裕があることとなります。
※直近3年間の平均値で表示します。

1	戸田市	1.22
4	朝霞市	0.98
6	川越市	0.94
6	所沢市	0.94
9	三郷市	0.90
11	入間市	0.86
15	狭山市	0.84
18	日高市	0.80
20	東松山市	0.79
20	鶴ヶ島市	0.79
24	富士見市	0.78
24	坂戸市	0.78
28	ふじみ野市	0.76
36	飯能市	0.70
39	鴻巣市	0.65
40	秩父市	0.56
市平均		0.82

公債費負担比率 10.2% 21位

公債費（借金の返済額）の状況から、財政運営の弾力性を測定する指標です。「使い道が制限されていない収入のうち、借金の返済にどれだけ使っているか」を表しています。
指標が低い方が、借金の返済以外に振り分けられるお金が多いということになります。

1	戸田市	6.8
6	鶴ヶ島市	7.9
8	所沢市	8.1
8	朝霞市	8.1
17	東松山市	9.5
19	狭山市	9.6
20	富士見市	9.9
21	入間市	10.2
23	三郷市	10.7
24	川越市	11.3
29	日高市	11.3
35	坂戸市	12.0
36	鴻巣市	13.4
39	飯能市	13.4
40	ふじみ野市	14.1
市平均		10.1

※「普通会計」とは？

普通会計とは、一般会計と公営事業会計以外の特別会計を合算して、会計款のお金の移動を控除したものです。地方公共団体ごとに設置されている特別会計が異なることから、統一的な基準の下に自治体間の財政比較を行うことができるようにするために、地方財政の統計上で用いられる会計区分です。

資料編

他市との財政指標の比較 (令和6年度普通会計決算)

経常収支比率 95.6% 33位

市税などの毎年入ってくる使い道が制限されない収入のうち、人件費や公債費、扶助費などの毎年必要になる支出が占めている割合です。

低い方がそれだけ財政に余裕があり、新しいサービスを始めたり、臨時的な支出が出来ることとなります。

1	戸田市	86.3
4	熊谷市	89.9
17	日高市	92.7
18	狭山市	92.7
19	飯能市	94.0
20	鶴ヶ島市	94.0
20	東松山市	94.6
22	富士見市	94.7
26	鴻巣市	94.8
29	坂戸市	94.9
30	所沢市	95.5
33	入間市	95.6
34	朝霞市	97.6
35	川越市	99.1
38	ふじみ野市	99.5
40	三郷市	100.7
	市平均	94.2

人口一人当たりの人件費
63,387円 24位

市議会議員や職員の給料など、その年の人件費を市の人口で割ったものです。

少ない方が市民サービスに回せるお金が多くなります。

1	坂戸市	50,399
3	富士見市	53,961
5	ふじみ野市	54,043
11	朝霞市	54,656
13	鶴ヶ島市	56,039
15	所沢市	56,640
17	鴻巣市	57,506
18	東松山市	57,576
19	狭山市	59,151
22	三郷市	60,710
23	日高市	60,988
24	入間市	63,387
28	川越市	64,372
32	戸田市	67,731
33	飯能市	71,773
40	さいたま市	102,457
	市平均	62,145

人口一人当たりの地方債残高
203,590円 5位

借金の残高を市の人口で割ったものです。

金額が少ない方が将来にわたっての負担は少なくなります。一方で地方債は財政負担の平準化や、住民負担の世代間公平のための調整に重要な役割を果たしています。

1	熊谷市	157,023
2	戸田市	160,236
3	朝霞市	168,171
4	所沢市	182,548
5	入間市	203,590
7	富士見市	207,435
8	狭山市	208,932
12	鶴ヶ島市	209,491
15	坂戸市	225,067
16	川越市	235,355
22	東松山市	262,522
25	日高市	285,659
26	三郷市	296,845
36	鴻巣市	299,442
37	ふじみ野市	321,781
39	飯能市	359,567
40	秩父市	451,694
	市平均	262,248

